

吹部 初の九州へ

一毅然たる眼差し の先に 克己復礼

加治木高校 生徒会新聞



定期演奏会にて



第2号
2021.8.18.(水)

制作
下村将太郎

発行
第74代生徒会

- 一、吹奏楽部 初の九州へ
- 二、志—吹奏楽部に聞く
- 三、連載企画紹介
- 四、専門部より

- 五、時を戻そう〜青春の回顧録〜
- 六、教えて！大山先生
- 七、生徒会からの挑戦状
- 八、編集後記

七月二十七日、鹿児島県吹奏楽コンクール高校Aの最終日。本校吹奏楽部は、この日の最終プログラムで課題曲IV『吹奏楽のための「エール・マーチ」』と自由曲『ルイ・ブルジョアの讚美歌による変奏曲』を演奏し、同部初となる九州大会出場を決めた。鹿児島県からは本校のほか、音楽科があり強豪の松陽、吹奏楽専攻コースがあり同じく強豪の神村学園が代表に選ばれた。

今年度、九州大会出場を目標に活動していた吹奏楽部の一か月間は、KTS鹿児島テレビの番組「ナマ・イキVOICE」で「挑む夏加治木高校吹奏楽部 一カ月に密着」と題して特集され七月三十一日に放送、さらに八月十四日には特別編も放送された。吹奏楽部は、昨年のコンクールが新型コロナウイルス感染拡大の余波を受け中止となっており、二年分の思いを背負った挑戦だった。

九州大会は今年二十二日、福岡サンパレスホテル&ホールで開催される。

(下村 将太郎)

志

祝九州出場
吹奏楽部に聞く

今回初めて九州大会に出場が決定してたくさんの方々からお祝いの言葉を頂き、そして改めて加治木高校吹奏楽部を想い、支えて下さる方々の存在のありがたさを感じました。

部活の指導をして下さっている永井先生、応援してくる友達、そしていつも私たちが想ってくれている家族。他にも、たくさんの方々を支えられてここまで来ることが出来ました。

支えて下さっている方々への感謝の気持ちを常に持ちながら、九州大会でいい演奏ができるようにこれからも日々練習に励んでいきます。

(吹奏楽部部长 濱田 愛加さん)

連載企画のお知らせ

今号から、生徒会新聞2021で四つの連載企画がスタートします。一年間毎月掲載されるそれぞれの企画の概要をまとめました。

- 一、志—〇〇に聞く
加治木高校で今頑張っている人・部・団体などをピックアップし、インタビューを通して紹介、活動を応援します。
担当：下村将太郎
- 二、時を戻そう
〈青春の回顧録〉
毎回一人の先生をピックアップして生徒会役員が突撃インタビュー。学生時代のお話を伺い、昔の青春の姿を探ります。
担当：第一回 手嶋野凛愛
- 三、教えて！大山先生
生徒会役員・大山海人の名言を毎号一つ掲載します。読み続けることもか新しい発見がある…かも。
担当：大山海人
- 四、生徒会からの挑戦状
知ってみると意外と面白い雑学クイズを毎号一つ掲載します。知らなかったことが知れる快感を味わって下さい。
担当：下村将太郎



OA情報ページアクセス

時を戻そう 青春の回顧録

第一回 永田先生

先生方に、青春時代のお話を伺うこのコーナー。第一回となる今回は、二年八組の副担任で野球部と生徒会の顧問でもある永田先生に、生徒会会計・手嶋野凛愛がインタビューしました。お楽しみください。



永田大樹先生
2年8組副担任
担当教科：化学
野球部・生徒会顧問

手嶋野：今回はよろしくお願います。さっそくですが、学生時代の先生はどんな生徒でしたか？

永田T：坊主頭で真っ黒こげになりながら白球を熱く追っていました。

手嶋野：野球部だったんですね。では、何かその頃の思い出を教えてください。

永田T：夏の県大会でベスト4をかけて鹿児島実業と全校応援で声援をもらいながら戦えたのは一生の思い出です。結果は負けてしまいました。

手嶋野：あの鹿実と！充実した部活ライフだったんですね。では逆にこれをしておけば…と後悔していることはありませんか？

永田T：やはり勉強です。野球ばかりやっていたから…。バランスが大事で

すよね。目の前のことに真摯に取り組み、過去の自分越えを意識すると伸びること間違いなしですよ。

手嶋野：部活と勉強の両立に悩む加高生に響きますね…。では最後に、青春を駆け抜けた先輩としてメッセージをお願いします。

永田T：勉強や部活、学校行事や放課後の友達との何気ない会話など仲間と共に過ごした経験は、一生の宝として自分の根幹に生かされます。自分を信じて、仲間を信じて、そして先生方を信じて、どうか楽しみながら自分の夢を追ってください。

手嶋野：文武両道を目指す本校生にとつて貴重なお話ばかりでした。ありがとうございました！

生徒会連絡板

満塩浩史・下渡承太郎

(文化祭 生徒会企画担当)より

生徒会企画MVエキストラ募集へのたくさんのお誘いありがとうございました。

MVの最後の場面の撮影を八月二十三日(月)に行う予定でしたが、コロナの影響

で二十六日(木)以降に行うこととなりました。今回のエキストラ参加は、申し込み

不要です。一・二年生のみ参加可能です。参加を希望する一・二年生の皆さんは、撮

影日時を後日連絡しますので、校庭に集合してください。沢山の参加待っています！

生徒会からの挑戦状

問題

数学において「証明終了」の意で用いられる「Q.E.D.」。これは何の略語か、元の言葉を答えよ。

答えは次号、次の問題とともに掲載します。

教えて！大山先生！今月の名言！

特に蛍光灯は自分の心
その光が眩しいのは、
自分が最高に輝いているから

大山海人

編集後記

蝉の音が校内中に響き渡る、夏の季節になりました。夏季授業は来週から再開予定。その影響で、今回の新聞は初の、そして異例の配信という形での発行になりました。更には連日の豪雨と蒸し暑さで、皆さんの気持ちも多少なり沈んでいることとあります。生徒会新聞担当の下村将太郎です。今回は第一号だったこともあり「創刊の辞」という題でしたが、今回からは「編集後記」という形でこのコーナーを書かせていただきます。

さて、生徒会新聞2021第二号、いかがだったでしょうか。お楽しみいただけましたか？前号から約一か月ぶりの発行となった今回は、新たに四つの連載企画も始まり、生徒会新聞2021の本格的なスタートとなる第一号でした。これからもおおよそ毎月一号のペースで発行していく予定です。

そして、今回のトップ記事は、吹奏楽部の九州大会出場特集でした。本校の吹部の九州出場は初ということもあり、また私ともう一人の生徒会の先輩が個人的に吹奏楽を好きという点もあり、大会翌日に九州出場の報せを聞いてすぐに記事にすることが決まりました。吹部の皆さん、そして他の部や個人でも上位大会に出場する皆さん。加治木高校生生徒会は皆さんを応援しています。

最後に、これは前号にも書きましたが、生徒会新聞への意見・ご要望等いつでもお待ちしています。皆さんと生徒会をつなぐ場としての生徒会新聞を、これからもよろしくお願ひします。

ここまで読んで下さり、ありがとうございます。それではまた九月、生徒会新聞第三号で。